

「マーチャン節」で シニア世代と デジタルとの架け橋に

パソコンなどのデジタル機器を積極的に活用し、人生をアクティブに謳歌している方々にインタビューする本連載。今回は、マーチャンの愛称でデジタル機器を使った様々な活動をしている若宮正子さんの登場です。

文／小野幸伸(編集部) 写真／菊池くらげ



メロウ倶楽部世話人
NPO法人ブロードバンドスクール協会理事

若宮正子さん

1日1万歩を目標にウォーキングを続けているという若宮さん。シニアの全国ネット団体であるメロウ倶楽部での活動だけでなく、ご自宅で週2回のパソコン教室も開催しています。

「我がハチ公、押しでも撫でて
も知らん顔」——マーチャンこと
若宮正子さんが、ウインドウズ
8の勉強会で講師を務めた際に
詠んだ川柳です。「ウインドウズ
8を導入すると、どんなパソコ
ンでも画面タッチができるよう
になると誤解している方が多い
んですよ」と若宮さん。そんな
誤解を解くために、こうした「マ
ーチャン節」を織り交ぜながら、
楽しくわかりやすくウインドウ
ズ8について解説します。

若宮さんが同世代の人たちに
パソコンのことを教えるとき、い
つも念頭に置いているのが、
「ナログ世代の発想」です。冒頭の
一句もそうですが、エクセルの
罫線と塗りつぶしの機能を使っ
て、日本の伝統的な文様を描く
「エクセルでアート」もその一つ。
エクセルで作った文様を印刷し
て、紙袋にしたりブックカバー
にしたり。「エクセルというた
りしい表計算のイメージがありま
すが、何かを手作りすることで、
ワクワクした気持ちでエクセル
を楽しく操作することができ
ようになります」と若宮さんは
話します。